学校教育目標
折尾西地域のもつ特性をもとに、「知・徳・体の調和のとれた自主的精神に満ちた心豊かな子」の育成に努める。

きずな

学校だより 第12号
令和4年12月5日
北九州市立折尾西小学校
校 長 木下 経之

令和４年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和４年４月１９日（火）に、６年生を対象として、「教科（国語、算数、理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

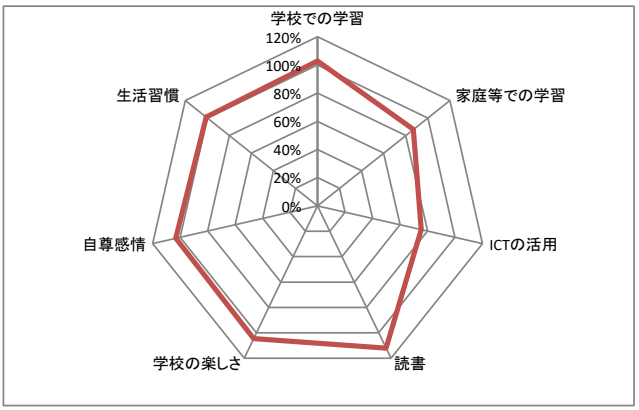
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

１．教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）	全国平均正答率との比較
国語	・ 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けるということは、正答率が高い。 ・ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめることに課題がある。	上回っている
算数	・ 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察することは、正答率が高い。 ・ 百分率で示された割合と基準量から、比較量を求めることに課題がある。	上回っている
理科	・ 観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことは、正答率が高い。 ・ メスシリンダーなど、器具の扱い方の理解に課題がある。	同程度である

２．学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

・ 「人が困っているときは、進んで助けていますか」の項目では、肯定的に回答した児童の割合が全国と比べて高い。
・ 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の項目では、肯定的に回答した児童の割合が全国と比べて高い。
・ 「読書は好きですか」の項目では、肯定的に回答した児童の割合が全国と比べて高い。
・ 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の項目では、肯定的に回答した児童の割合が全国と比べて低い。

３．調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

○ 朝の読書タイムを全校一斉で取り組む。（毎週火曜日）
○ 「『ことば』を問い続ける子どもを育てる国語教育」のテーマで校内研究を推進し、授業公開で授業改善に向かう共通実践に取り組む。

② 家庭生活習慣等に関する取組

○ 家庭学習への働きかけ
・ 学校通信等で家庭学習の重要性を啓発するとともに、家庭学習の時間を１０分×学年とし、その時間につり合う課題を与える。
○ 全国学力・学習状況調査の結果、及び分析内容の保護者への周知
・ 学校だより、学校ホームページで発信する。